



もりうち とみさぶろう

## 森内 富三郎 氏

生年月日 明治 39 年 4 月 26 日生

住 所 田辺市栄町

明治 39 年 (1906 年) 4 月 26 日、西牟婁郡田辺町 (現田辺市栄町) において、森内音吉、つね夫妻の三男として生まれる。田辺実業学校 2 年の後、大阪市の大阪貿易語学校へ入学、同校 3 年生の折、同校が火災で焼失し、廃校となったため帰郷、生来音楽の素質豊かであった氏は、在学中より苦心、努力を重ね独学でバイオリン、ピアノをはじめほとんどの楽器の奏法を習得した。

昭和 4 年 (1929 年) 頃からバイオリン、ピアノの教授をはじめる中で、同 5 年 (1930 年) 5 月、現住所の栄町において森内楽器店を開設。

昭和初期、氏は当地方の音楽愛好家と共に音楽同好会を結成し、習得した技法を伝え研修を重ねると共に、田辺高等女学校に着任された東京音楽学校出身の故益山鎌吾先生等と共に音楽同好会「レガートクラブ」で音楽活動を展開、また、田辺高等女学校の音楽会等で援助演奏を行うほか、昭和 7 年 (1932 年) 頃、東京上野の本科ピアノ課を専修した外山雪子氏の帰郷を機に、故原勝四郎氏 (バイオリン) [第 1 回 (昭和 45 年) 田辺市文化賞受賞]、外山雪子氏 (ピアノ) と氏 (チェロ) の三人でピアノ三重奏グループを結成し活発な音楽活動を行った。

また、氏は田辺好楽会を結成、東京、大阪から演奏家を招へいし、演奏会を開催するなど、当地方の音楽の振興に多大の貢献をされた。

昭和 17 年 (1942 年) 6 月、和歌山県音楽文化協会の理事に就任、引き続き同 18 年 (1943 年) 1 月、再び同協会の理事に就任するなど幅広い活躍の中で、同 9 年 (1934 年)、NHK 毎日音楽コンクールのバイオリン部門で日本一に輝いた南部の故山本恵子氏をはじめ、現山口芸術大学教授の吉田稔氏など門下に幾多の優秀な人材を育てられた。

現在、当地方の音楽教育の指導的立場にある多くの人々が同氏の影響を受けており、近年健康を害されるまで、昭和初期から 50 年余の長きにわたって多くの門弟を養成された氏は実に、田辺市の音楽界のパイオニアであり、当地方の音楽の振興に尽くされた功績は極めて大きなものがある。

## 第 18 回 (昭和 62 年)

### (略 歴)

- |                      |                  |
|----------------------|------------------|
| 大正 11 年 (1922 年) 3 月 | 大阪貿易語学校 3 年終了    |
| 昭和 4 年 (1929 年) 3 月  | バイオリン・ピアノの教授をはじめ |
| 昭和 5 年 (1930 年) 5 月  | 森内楽器店開設          |
| 昭和 17 年 (1942 年) 6 月 | 和歌山県音楽文化協会理事     |
| 昭和 18 年 (1943 年) 1 月 | 和歌山県音楽文化協会理事     |
| 昭和 31 年 (1956 年) 5 月 | 田辺市公民館運営審議会委員    |

### (受賞歴)

- |                       |                                      |
|-----------------------|--------------------------------------|
| 昭和 12 年 (1937 年) 5 月  | 賞勳局総裁より田辺好楽会の音楽活動に対し表彰を受ける           |
| 昭和 24 年 (1949 年) 11 月 | 田辺市長より多年の洋楽研鑽普及の功により表彰を受ける           |
| 昭和 32 年 (1957 年) 1 月  | 和歌山県音楽教育連盟理事長より多年の音楽教育振興の功により感謝状を受ける |